季節のフラワーエッセンス

scene 12
inner child

秋から冬にかけて、日照時間が短くなると、心配事が増えたり、憂鬱な気分になったりしがちです。そんなとき、インナーチャイルドの問題がしばしば浮上してきます。秋は、自分の内面を見つめ、対話するにはよい季節です。この時期、フラワーエッセンスのサポートで、インナーチャイルドの癒しを、始めてみませんか。
インナーチャイルドの癒しでお勧めしたいエッセンスは、C／チャイルドフッド。これは、E／ブラッケン・アルク、E／チャーロック、E／ヴァレリアンの3種のコンビネーションです。そのうち、ヴァレリアンについては『Oasis Vol.46』でご紹介しましたが、今回はフラワーエッセンスで自分のインナーチャイルドを見つめ始めた30代女性の「チャイルドフッド」の体験談とともに、ブラッケン・アルクをご紹介します。

東　昭史（あずまあきひと）
CHhom フラワーエッセンスセミナー講師
8月21日、ホメオパシー研究所自然農園・洞爺にて、とらこ先生とともにフラワーエッセンスセミナーの講師を務めた東先生。

【状況】

自営業をしていて、将来に対して不安があります。生活のレベルを維持していくことへのプレッシャーを解消したいです。精神面では、子ども時代からのとらわれがあることを、他人から指摘されました。

【エッセンス】

Composites Essences 「チャイルドフッド」
幼い頃、厳しいご両親のもとで育てられた方の中には、何事もご両親に言われるがままに選択し、行動しようとする方がいらっしゃいます。自分で物事を判断したり、自分の考えを主張したりすることができず、責任ある行動をとることが難しい方です。このような方は、しばしば子どもの役割を演じてしまいがちです。精神面では、本来の自分を押し殺した振る舞いを繰り返して葛藤したり、なかなか子どもっぽさが抜けなかったり、さらには、いつまでも子どものままでいたいと考えている人もいるかもしれません。このような人に、「チャイルドフッド」は、精神面での自立をうながし、自ら物事を判断、行動して、責任をとれる、成熟した大人の意識へと成長できるように導きます。

【結果】

「チャイルドフッド」の使用中は、ネガティブなことを思いませんでした。いろいろな気づきがあり、前向きに考えられるようになりました。思えば将来に対する不安は、自信のなさや劣等感だったと思います。子どもの頃からあまり褒められた経験がなく、「チャイルドフッド」のエッセンスの話を聞いて驚きました。自分に自信を持ち、どんな困難にも向かっていける、強い信念で行動できる強さが欲しいと思えるようになりました。

【コメント】

「チャイルドフッド」をとることで、インナーチャイルドに意識が向きはじめたようですね。もし、自信のなさや劣等感がそこにあるようでしたら、「チャイルドフッド」と一緒に「C／セルフエスティーム」をとることをお勧めします。
この二つのエッセンスには相乗効果が期待できます。ぜひ試してみてください。

Extra Single Essences「ブラッケン・アルク」

【キーワード】　怒り・憎しみ・憤り、虚言・偽り、インナーチャイルド

シダ植物の一種でなじみのある、ワラビのエッセンスです。日当たりの良い草原に育ち、ベイリーフラワーエッセンスが作られるイギリスでは、ムーアと呼ばれる荒地に群生しています。このエッセンスが合うのは、支配的な人たちのもとで従順であることを強いられた人、あるいはその反動で破壊的な振る舞いにおよぶ人たちです。酸性土壌の過酷な環境にあって、自然界の厳しさに支配されながら生きるブラッケンのエッセンスは、親や先生に支配される厳しい環境で生きてきた人に、気づきを与えてくれます。抑圧された子ども時代のパターンを解消し、精神的な成長をうながしてくれるでしょう。

ブラッケン・アルク

ワラビが広がるイギリスの荒野